

# いなみ

恵みの潮、実りの地



太陽と黒潮に恵まれた  
半世紀の実りの物語

太陽が育む色とりどりの農産物、黒潮が運んでくる豊富な海の幸。  
歴史を感じさせる熊野古道ゆかりの史跡、海の町らしい勇壮な伝統行事。  
この豊かな自然と故郷、分けてあげたい、あなたにも。



和歌山県

印南町

印南町町勢要覧 ● 2015

4 | 〔第一章〕

# 恵み

自然風景編

## いなみの風景—「恩恵」

6 | 山の風景

8 | 海と川の風景

10 | 彩りの風景

印南町は太平洋に向かって開けた町。  
背後には緑豊かな紀伊山地が広がり、  
そこに源を発す印南川と切目川が

流域の水田や畑を潤しながら、

黒潮の流れる太平洋に注いでいます。



12 | 〔第二章〕

# 育む

歴史文化編

14 | うまささが「ぎゅつ」とつまった実り

16 | 大地の実りに感謝

18 | 黒潮が届けた恵み

20 | この日にかける熱い思い

22 | 熊野古道を辿る

24 | ”時“を見つめて

26 | 印南の半世紀成長記 | 年表

30 | 太陽と黒潮の恵みいっぱい | 印南マップ



# 実り

未来編

温暖な気候を生かした野菜や果物、

花の産地として知られる今日の印南町。

古代には熊野詣の貴人たちが行き交い、

江戸時代にはカツオを追って

全国に雄飛した印南漁民で名をはせた地。

そんな歴史の延長に現在の町があります。

34 健やかに安心して暮らせる郷まち

35 自然と調和した安全・快適な郷

36 いきいきと個性が発揮できる郷

37 地域の魅力が輝く交流の郷

38 次世代につなぐ郷

39 発刊のごあいさつ

2007年8月で誕生から

ちょうど半世紀が経過する印南町。

近年、京阪神と町を直結する

待望の高速道路（阪和自動車道）も開通。

海も山もある豊かな自然を守りながら、

産業の振興と住民生活の向上を図るため、

明日に向かってさらなる挑戦が続きます。



恵みの潮、実りの地

# いなみ

太陽と黒潮に恵まれた  
半世紀の実りの物語



崎山地内から太平洋を望む

# 恵 第一章 み

自然風景編

いつの時代も、変わることなく私たちの目の前に広がる大海原。  
潮騒をバックに、時間とともに刻々と表情を変える太平洋は自然のシアター。  
いつまでも、決して見あきることはありません。



第一章 ● [恵み]

# いなみの風景 — 「恩恵」

海と山が近い印南町。潮の香り漂う港や海岸から、ハウスが点在する丘や田園、棚田の広がる山間部まで、多彩な景観がモザイクのように散りばめられています。



- ① …… 島田地区の田んぼ
- ② …… わさび田(川又)
- ③ …… 千両畑(田ノ垣内)





いなみの風景—「恩恵」



- ① …… 海に沈む夕陽(風早海岸)
- ② …… 海沿いを走る鉄道(崎山)
- ③ …… 海沿いの町並み(切目)
- ④ …… 切目川清流(羽六)



いなみの風景—「恩恵」



3



2



5



4

- ① …… 川又観音の滝
- ② …… 除虫菊(印南)
- ③ …… レンゲ
- ④ …… 川又観音のシャクナゲ
- ⑤ …… 菜の花







# 育む

## 第二章

### 歴史文化編

今や、和歌山県下でも有数の農業の町として知られる印南町。  
そんな現在の町の姿と重ね合わせて、かつては熊野街道の要衝にあたり、  
カツオ漁で栄えたこの地の歴史を紹介します。

# うま味が

「ぎゅっ」と  
つまつた

# 実り

## 特産のエンドウ

町内で栽培されているエンドウは、実を食べるウスイエンドウ、さやごと食べるキヌサヤ、オランダの3種類。印南のキヌサヤは2つのサヤがくっついた「アベックキヌサヤ」で、町の特産です。



うま味の  
エンドウは  
ほんまは  
あまくて  
うまいんよ

# 太陽と黒潮の恵みがいっぱい エンドウ豆の町

## 海

岸を縫うように走る国道42号沿いのあちこちで目にする園芸用ハウス。冬でも霜の降りない温暖な気候に恵まれた印南町の沿岸部は野菜栽培にはまたとない条件を備えたところ  
です。

昭和初期から。オランダも昭和20年代にはすでに栽培が始まっています。露地栽培とハウス栽培を組み合わ

数ある野菜の中でも、とりわけ自慢はエンドウ豆。町を代表する農産物で、町内の栽培面積は約94ヘクタール（平成24年産）にも及び、ウスイエンドウを筆頭に、キヌサヤ、オランダが栽培されています。

いずれも栽培の歴史は古く、ウスイエンドウは大正時代、キヌサヤは

せることで、栽培できる期間もぐんと広がり、夏場を除けばほぼ年中収穫が可能。京阪神市場を中心に出荷され、品質のよさで高く評価されています。



ミニトマトの栽培風景



エンドウの収穫風景

## 甘さとびっきり!! 房どり完熟 ミニトマト

グルメブーム、ヘルシー志向を追い風に、近年消費が伸びているミニトマト。印南町はミニトマトの和歌山県下最大の産地です。量販店や学校給食など、大口の需要に支えられ、町内の作付面積は順調に拡大しています。

印南のミニトマトは“房どり・完熟”が売り。最も糖度の高い「赤糖房」をはじめ、「優糖星」「王糖姫」「ピコトマト」の4種類等が栽培されており、大消費地の京阪神市場を中心に出荷。「甘くておいしい」と、市場関係者や消費者から高い評価を受けています。

### JA紀州 ミニトマト概要

商品名	出荷基準(糖度)
赤糖房	8.5度以上
優糖星	8.0度以上
王糖姫	7.0度以上



# 実りに

# 大地の

## 第二章 ● 「育む」

地形と気候を生かして、作られる多彩な農産物。  
印南町では、一年を通じて旬の野菜や果物、  
みずみずしい花が途絶えることはありません。

## 南高梅

ウメは古くから栽培されていますが、近年、健康食品としてメディアが取り上げ、健康ブームにも乗り、消費のアップとともに栽培面積も急増し、現在（平成24年）では約282ヘクタールの栽培面積となっています。



千両の栽培風景

## 千両

冬に赤や黄色の実をつける花で、名前も縁起がよいことから、お正月の生け花に欠かせない花となっています。山間部の気候が冷涼な真妻地区の特産で、印南町は関西一の産地。発祥の地にちなみ「真妻の千両」の名で知られます。

## 紅小玉 スイカ

印南町は関西では古くから知られるスイカの産地。現在、栽培されている主力品種は片手で持てる大きさの紅小玉スイカ。「小さくても甘さはビッグ!!」をキャッチフレーズに、主に京阪神、中京市場に出荷。西日本一の出荷量を誇っています。



# 感謝

**海** と山に囲まれて、東西に長い  
 印南町は地域によって気候、  
 地形も様々です。

まず、太平洋に面した沿岸地域。こ  
 こは黒潮のもたらす温暖な気候を生か  
 し、エンドウ豆に代表される野菜の一  
 大生産地を形成しているところ。スター  
 チス、カスミソウ、カーネーションとい  
 った花き類のハウス栽培も盛んです。  
 町の中央部は標高1000〜2000  
 メートル前後の山々が点在する中山  
 間地域。切目川、印南川の流域を中  
 心に、野菜畑や水田が広がっており、  
 山腹のあちこちには、ミカンやウメ  
 などの果樹園も見られます。  
 最深部にあたる東北部一帯は標高2  
 000〜3000メートル前後の山々に囲  
 まれた山間地域。冬は雪が降ること  
 もある冷涼な気候を利用した千両やウメ  
 の栽培が盛んです。また、清流を利用  
 したワサビの栽培も取り組んでいます。

## いなみの旬

- イチゴ(1月上旬〜5月上旬)
- タケノコ(4月初旬〜中旬)
- ウメ(6月)
- 紅小玉スイカ(6月中旬〜7月中旬)
- メロン(7月)
- ブドウ
  - \*デラウェア(7月下旬〜8月中旬)
  - \*巨峰(8月中旬〜9月上旬)
  - \*ロザリオ(9月)
- 稲刈り(9月上旬)
- ミカン(11月中旬〜翌1月中旬)
- 千両(12月)
- エンドウ
  - \*キヌサヤ、ウスイエンドウ
- (12月下旬〜翌5月中旬)
- 花き(12月下旬〜翌5月上旬)
  - カスミソウ、小菊、スターチス、カーネーション、スイートピー、デルフィニウムなど
- ミニトマト(12月下旬〜翌5月中旬)

いなみ  
 育ちの  
 仲間たち

四季折々の新鮮な野菜、果物、  
 花々がいつも楽しめる。  
 毎日のお料理に、おやつに、贈り物に、  
 幅広くご用命を承っています。



カスミソウ



カーネーション



小菊



ワサビ



スイートピー



スターチス



メロン



イチゴ

# 黒潮が 届けた 恵み

今日も  
曲豆漁  
やったで



# 黒潮がもたらす豊かな海の幸 印南は古くからの漁業先進地

## 印

南町の沿岸部、印南川の河口に広がる一帯はその昔、印南浦と呼ばれ、古くからカツオ漁で栄えた地。江戸時代には、印南漁民は黒潮とともに北上するカツオの群れを追って、遠く房総、日向灘、五島、足摺岬方面まで出向いていたほど。一年の大半を出漁地で過ごす“通い漁”を行っていた印南漁民は、現地においても漁業のリード役を果たしていたことが知られています。

そんな海の町の伝統は今も健在。漁法、漁具も進歩した現在では、沿岸で伊勢エビ、アワビ、トコブシ漁が、沖合でイサキ、タイなどの一本釣りや近海でイワシ、カツオ、タチウオ、フゲ漁などが行われており、印南漁港には、一年を通じて、黒潮の恵みである様々な魚介類が水揚げされています。また、魚種豊富な本町の沖合は県内外からやってくる釣り客の人気の的にもなっています。



遊漁船



海釣り



いわしの水揚げ

印南漁民の全国各地への通い漁が最盛期を迎えていた江戸時代の話。延宝6(1678)年、印南町の漁師だった二代目角屋甚太郎が、出漁地の土佐で、釣ったカツオを長時間保存するため、「燻乾法」と呼ばれる鰹節の新しい製造法を考案します。火力でカツオを乾燥させ、青カビをつけ、日光乾燥を繰り返すこの新製法により、それまであった鰹節の風味と日保ちが大幅に向上。これが今日の土佐節(鰹節)の原型となり、やがて全国に流通するようになったといわれます。

## 鰹節のはじまりと 印南



# この日にかける熱い思い

日高地方の秋祭りの先陣を切って行われる印南八幡と山口八幡の祭礼。  
印南に実りの秋を告げる伝統の祭りは、「けんか祭り」の異名も持つ勇壮で激しい祭りです。

## 「印南祭り」は威勢のよさが身上

**秋** 印南町を祭り一色に染める  
「印南祭り」。毎年10月2日、

日高地方の秋祭りのトップを切って  
行われる、印南八幡と山口八幡両神  
社の合同秋季祭礼です。

印南八幡神社の祭礼は4台の屋台  
と神輿が勢いよく印南川に飛び込み、  
祭装束の男衆が肩まで水につかりな

がら川を渡る勇ましい祭り。一方の  
山口八幡神社の祭礼は6台の屋台と  
神輿が登場。屋台をぶつけ合いなが  
ら印南港まで渡御、浜辺では雑賀踊  
りや奴踊り、獅子舞が奉納されます。  
今や、京阪神からの見物客も多い、  
県下屈指の勇壮な祭りです。



重箱獅子(県無形文化財) 東山口

## かけ声とともに川へ、海の男は度胸がいのち 「印南八幡神社の祭礼」(県無形文化財)

最大の見ものは「お渡り」と呼ばれる川渡御の神事。フホリを持った若者が先頭となり、印南川に入り、屋台と神輿がその後に続きます。屋台同士が争って激しくぶつかり合うさまは壮観です。



## 渡御は地響きするような迫力 「山口八幡神社の祭礼」

印南漁港の御旅所まで、勇ましいかけ声とともに、ひしめき合いながら渡御する屋台は迫力満点。別名“ケンケン踊り”と呼ばれる紀州雑賀衆ゆかりの雑賀踊りや奴踊り、獅子舞の奉納も見ものです。



# 熊野古道を 辿る

古代から、熊野三山へと通じる参詣道としてにぎわった熊野古道。その要衝にあたっていた印南町には、かつて熊野信仰ゆかりの王子社が切目王子をはじめ、四社設けられ、多くの貴人たちがこの地に足跡を残しています。



## Map ① 切目王子跡 (県指定文化財)

熊野九十九王子の中でも、特に格式が高いといわれる五体王子の一つ。平安時代から鎌倉時代にかけては、熊野に詣でる貴人たちは必ず参詣したといわれ、御所御殿は皇族の宿泊所にあっていました。境内には天然記念物のホルトノキがあります。

① 切目王子跡

切目川

阪和自動車道・湯浅御坊道路

切目駅

② 中山王子跡



## Map ② 中山王子跡 (県指定文化財)

建仁2(1202)年の「後鳥羽上皇熊野後幸記」に「先陣また山を越えて切部中山王子に参る」と記されている王子です。元は現在地より約1キロメートル東の「王子谷」にあったと考えられています。



印南IC

印南駅



斑鳩王子跡 3

Map 3 斑鳩王子跡 (町指定文化財)

熊野九十九王子の中でも創立の古い神社で、「中右記」天仁2 (1109) 年10月20日条には「次に伊南の里を過ぎ、次にイカルガ王子に奉幣」と記されています。

4 叶王子跡

後鳥羽上皇も立ち寄った「切目王子跡」  
熊野に詣でた貴人たちの足跡を訪ねて

古

来、「熊野」と呼ばれた紀伊半島南部。平安時代には、京都から多くの皇族や貴族が熊野三山を参詣、それに伴い発展したのが熊野古道です。

その道沿いに設けられたのが熊野権現の分身とされる王子社(熊野九十九王子)。印南町には、中でも格式

が高いとされる五体王子の一つ、切目王子をはじめ、中山王子、叶王子、斑鳩王子の四社の跡が残っています。

正治2 (1200) 年、熊野に詣でた後鳥羽上皇はこの切目王子で歌会を催し、そのおり歌をしたためた懐紙は国宝「切目懐紙」として、京都の西本願寺に所蔵されています。

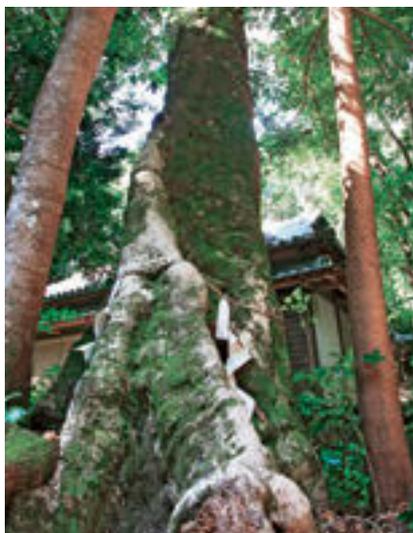


Map 4 叶王子跡 (町指定文化財)

地元では「おかのさん」と呼んでお祀りしています。跡地には、大正3 (1914) 年建立の「叶王子神社旧跡」と刻まれた石碑があります。元は津井の「王子田」にあったといわれています。

# “時”を見つめて

史跡や社寺、文化財は印南町の過去と現在を結ぶ縁よすが。遠い先祖の思いや祈り、営みを私たちに伝えてくれます。ひっそりとたたずむ小さな祠にも、病気の治癒や厄除けを願う素朴な民間信仰が息づいています。



切目神社のホルトノキ (県指定文化財)



川又観音のトチノキ (県指定文化財)



東光寺ナギノキ (県指定文化財)

## 切目崎塚穴 (第14号古墳、県指定文化財)

切目崎の海を望む段丘上にあります。6世紀後半に築造された円墳で、町内で発見された古墳の中では最も規模が大きく、保存状態も良好なことから、町の古代をうかがい知る上で貴重な遺跡です。



## 先祖の生活や 信仰にふれる

### 遙

か昔から人々が定住していた  
印南町。町内で発見された縄  
文・弥生・古墳時代の遺跡はいずれ  
も、温暖で生活しやすい沿岸部と印南  
川、切目川沿いに集中しているのが特  
徴です。

また、町内には、鯉節の考案者、  
角屋甚太郎の菩提寺である印定寺や、  
小栗判官伝説で知られる東光寺など  
の古刹・名刹も多数。病気や厄除け  
に霊験あらたかと伝えられるお地藏



上から：Map ⑤ 印定寺  
Map ⑥ 東光寺  
Map ⑦ 畑峰(コンニャク)地藏

様、観音様を祀る小さな祠も各所に  
見られ、素朴な民間信仰が今も息づ  
いていることに胸が打たれます。

## 名杭十一面観音立像(県指定文化財)

名杭地内の十一面観音堂に安置されています。高さは176センチメートルあり、平安時代の作と考えられています。観音像らしい慈悲深いお顔と流麗な彫りが特徴で、県内に数多い同時代の仏像の中でも、秀作に属します。

# 昭和32〜63年

昭和46年	4月	農免道路印南線完成
昭和44年	7月	同和对策事業特別措置法公布される 同和对策事業長期計画策定、事業着手
昭和43年	9月	稲原と和佐間、切目と岩代間、鉄道複線開通
昭和42年	4月	あけぼの保育所開設
昭和41年	11月	印南町漁業協同組合大同合併(島田漁協合併)
昭和41年	3月	印南町農業協同組合(印南、稲原、真妻、切目川、切目)大同合併
昭和39年	11月	印南町漁業協同組合設立
昭和38年	12月	真妻小学校、鉄筋校舎3階建移転改築
昭和37年	7月	印南地区水害
昭和37年	12月	切目大橋完成(全長158メートル・幅8メートル・総工費8500万円)
昭和36年	9月	切目川中学校移転完成
昭和35年	3月	印南小学校、鉄筋校舎3階建てに改築完成
昭和34年	9月	第2室戸台風(暴風雨は未曾有のもので、軽傷者死者28名、住家及び漁港施設等のか被害総額8億2670万7000円)
昭和33年	3月	伊勢湾台風(死者1名、被害総額7778万6000円)
昭和32年	8月	新印南町誕生(切目川村、安住村、印南町の3力町村が合併)
昭和32年	3月	国道印南と南部間路面補修開始
昭和32年	3月	真妻地区で千両栽培開始
昭和32年	3月	平和橋(印南)完成

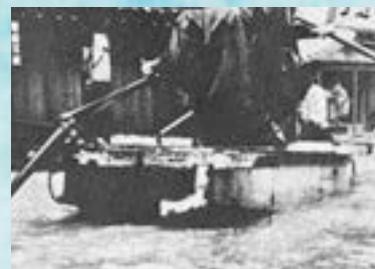
# 印南の半世紀

## 成長記



**DATA**  
**昭和32年**  
 人口：13,720人  
 世帯数：2,869世帯  
 面積：113.37km<sup>2</sup>

57年という歳月が育んできたもの —  
 豊かな自然、活気ある産業、快適な暮らし、人々の笑顔。  
 印南の誕生からこれまでの成長記を、  
 一つ一つ振り返ります。



昭和37年7月●集中豪雨による浸水



昭和30年代●印南簡易水道水源地附近



昭和30年代●印南町役場

昭和63年

9月 切目川印南水害

昭和62年

11月 印南町合併30周年記念式典

(2日)印南町民憲章の制定  
町の木(杉)、町の花(千両)の選定  
記念イベント祭大集合「幻の二十五重連」  
(3日)ミス印南・漁船パレード・町消防団  
訓練一斉放水

昭和60年

5月 印南地区テレビ共聴施設設置委員会発足

昭和59年

5月 いなみ農協Aコープ開店

昭和58年

1月 切目川地区簡易水道完成

昭和57年

3月 印南町公民館完成  
8月 台風10号と豪雨

昭和56年

4月 印南幼稚園新築完成

6月 印南原簡易水道完成

昭和55年

3月 切目小学校新築校舎完成

昭和54年

3月 切目川保育園完成

昭和53年

4月 印南町商工会館完成

昭和52年

11月 切目中学校体育館完成  
7月 印南勤労者体育センター着手  
4月 切目中学校校舎改築3階建完成

昭和51年

5月 印南町同和教育基本方針決定  
10月 稲原中学校運動場造成工事完成

昭和50年

5月 稲原西保育園開設

昭和49年

4月 稲原幼稚園開設

昭和47年

3月 印南町若もの広場完成



昭和62年11月●30周年記念イベント  
「漁船パレード」



昭和30年代●国道42号に沿って光川地内



昭和30年代●印南商店街



昭和39年3月●稲原西小学校完成



昭和39年●印南町役場庁舎

# 平成元年～26年

平成元年	3月 農免道路印南光川橋完成
平成2年	4月 印南町史通史編(上・下2巻)完成 8月 第10回ライオンカップ全日本バレーボール小学生大会優勝・切目ジュニアバレーボールクラブ
平成3年	11月 かつお節発祥之地広告塔(御坊ライオンズクラブ)を建立
平成4年	11月 印南町婦人防火クラブ連合会発足
平成5年	5月 稲原防災センター完成 6月 印南中学校完成
平成7年	8月 第13回ライオンカップ全日本バレーボール小学生大会優勝・切目ジュニアバレーボールクラブ 3月 「21印南かえる橋」完成
平成8年	3月 町民プール完成
平成9年	5月 広域農道(山口～高垣)開通 7月 国道425号(美里・古井工区)開通
平成10年	3月 蕨野区高速道路設計協議合意確認書調印式 島田警察官駐在所完成 10月 高垣地区高速道路設計協議合意確認書調印式
平成11年	3月 まつま保育園完成 印南浄水場完成 4月 清流中学校の開校(切目川中・真妻中と統合)
平成12年	1月 印南駅前団地完成 2月 稲原小学校完成 3月 カルフル・ド・ルポ印南オープン(特別養護老人ホーム) 12月 切目川多目的ダム建設事業新規建設採択
平成13年	6月 黒潮フルーツライン区域農用地総合整備事業着手

平成14年	1月 稲原駅前団地完成
平成15年	1月 切目川団地完成 12月 高速道路阪和自動車道御坊IC～みなべVIC間開通式典
平成16年	3月 王子川河川改修工事完成 4月 グループホームカルフル・ド・ルポ印南オープン 7月 町宅地造成事業「宇杉ヶ丘団地」第一期分譲(23区画)始まる 8月 真妻団地完成
平成17年	4月 国道425号の稲原トンネル開通 印南小学校の開校(山口小と統合) 6月 山口地区污水処理場供用開始 古井地区污水処理場供用開始
平成18年	4月 高観光物産センター印南SA(上り線)に、ランドオープン 切目川小学校の開校(櫻川小と統合) 9月 切目小学校改造工事完成
平成19年	3月 ダム事業関連国道425号中田ノ垣内橋完成 6月 新大峠トンネル貫通(国道425号)
平成20年	1月 切目川ダム建設に伴う移転者離村式 3月 新大峠トンネル供用開始(国道425号) 4月 稲原小学校の開校(稲原西小と統合) 9月 高串トンネル貫通(国道425号)
平成21年	4月 清流小学校の開校(上洞小・真妻小・切目川小の統合) 8月 上田ノ垣内橋竣工(国道425号)
平成22年	2月 津波避難タワー完成(浜地区) 崎山地区の農免道路完成 4月 宮ノ前・古屋地区農業集落排水施設供用開始



平成11年4月●清流中学校開校 Map 8



平成5年6月●印南中学校完成 Map 9



DATA

平成26年(4月1日)

人口：8,822人  
世帯数：3,253世帯  
面積：113.63km<sup>2</sup>



平成21年4月●清流小学校の開校 [Map 13](#)



平成23年6月●印南町コミュニティバス運行開始



平成12年2月●稲原小学校完成 [Map 10](#)

平成15年12月●印南IC完成



平成26年

- 1月 「切目川バイパス」開通（国道425号）
- 2月 奥真妻活々倶楽部開店
- 3月 共栄公園のトイレ完成
- 8月 第49回全国都道府県対抗自転車競技大会

平成25年

- 3月 「アグリコミュニティ稲原」の開所
- 6月 切目川ダム定礎式
- 阪和自動車道 有田～紀南田辺間4車線化事業着手

平成24年

- 2月 切目川2号トンネル（仮称）貫通（国道425号）
- 6月 避難道路・町道橋耐震化整備事業着手
- 7月 印南町コミュニティバスの運行が区域運行に変更
- 清流小学校にプール完成

平成23年

- 5月 印南SA（下り線）竣工
- 8月 切目川バイパス（田ノ垣内～高串）開通
- 4月 黒潮フルツライン（櫻川～古屋～西本庄）供用開始
- 「いなみこども園」開園
- 6月 印南町コミュニティバス運行開始
- 9月 紀伊半島大水害
- 10月 「いなみっ子交流センター」オープン
- 11月 印南SAバスストップ運用開始



平成15年12月●阪和自動車道（御坊IC～みなべIC）開通



平成25年6月●切目川ダム定礎式



# 太陽と黒潮の 太恵みいっぱい

「印南マップ」

黒潮洗う海岸から緑豊かな山里まで、端から端までたどれば、北東約20キロメートル。  
きらきらと輝く海と緑のまぶしいまち。

# 日高川町

# 印南町

# 御坊市



21 印南かえる橋



ダム事業関連国道425号(上洞地内)



古井地区汚水処理場



黒潮フルーツライン  
(櫻川地内)



Map 12 カルフル・ド・ルポ印南



国道425号(稲原トンネル)



# 実り

## 第三章

未来編

高速道路により関西都市圏との時間距離がぐっと短くなった印南町。  
住民の暮らしから産業まで、町を取り巻く環境が大きく変わろうとする中、  
しっかりと明日を見すえたまちづくりに取り組んでいます。



社会福祉協議会

# 健やかに安心して 暮らせる郷



高規格救急車

**少** 子高齢化時代と直面する本町において、健康は住民にとって最大の関心事。町では「自分の健康は自分で守る」を基本にいた健康づくり事業、救急医療体制の確保など、保健・福祉サービスの充実に努めています。

また、乳幼児からお年寄り、障害者まで、すべての住民がいきいきと充実した人生をおくれるよう、家庭や地域、職場など、あらゆる場で、生きがいと思いやりを基本とする福祉のまちづくりを推進しています。



ひまわり教室

保健  
福祉

まちづくり



印南IC

# 自然と調和した 安全・快適な郷

## 生活環境

まちづくり

地方避難路



### 道

路は町の活性化と住民生活の向上に欠かせない社会基盤。阪和自動車道・印南ICへのアクセス道路をはじめ、町内の各道路の改良・整備を進めています。

また、計画的な土地利用計画に基づく、潤いのある居住空間の形成、地域防災計画に基づいた、災害に強い、安心して暮らせる生活環境づくりに取り組んでおり、これらは本町の最大の地域資源である自然の保護・継承に最大限配慮して取り組むことを基本としています。



国道42号



小学校の給食風景

# いきいきと個性が 発揮できる郷<sup>まち</sup>

教育・  
文化

まちづくり



人権講演会

推進、男女共  
同参画社会の  
推進など、  
様々な角度  
から住民の  
社会参加を  
促してい  
ます。

**本** 町では、住民がいつでも、どこでも、だれでも学ぶことのできる生涯学習社会の実現に向けて、学習機会や学習内容の充実を図っており、幼児・学校教育はその基盤づくりと位置づけています。

また、住民の文化意識の高揚と地域文化の継承に努めているほか、人権の尊重、スポーツ・レクリエーション活動の振興、コミュニケーション活動の推進、男女共同参画社会の推進など、様々な角度から住民の社会参加を促しています。

小学校の授業風景





印南漁港

# 地域の魅力が輝く 交流の郷



**平** 成15年末、阪和自動車道がみなべICまで延伸。町内に印南ICと印南SAが設置されたことを機に、高速道路を活用した産業振興に取り組んでいます。

大幅に短縮された京阪神からの時間距離をアピールし、優良企業の町内への誘致に努めているほか、地場産品の販路開拓による農林水産業の振興、交流人口の増大を見込んだ観光の振興などにも取り組んでいます。

産業

まちづくり



印南サービスエリア上空  
から切目崎を望む

# 次世代に つなぐ郷<sup>ま</sup>ち



印南かえる橋上空

**ま** ちづくりは行政だけの力でできるものではありません。地方分権の時代においては、住民と行政が共通の目標を持ち、それぞれの役割と責任を理解し、互いに協力しながら、一体となって進めていくことが求められています。

このため、本町では、住民との対話に努めながら、各種団体や企業を含めた住民参加のまちづくりを促進、住民の町政への積極的な参画を図っています。

平成23年度には「新印南町行財政改革大綱」を策定し、時代にマッチした行政運営、健全な財政運営、広域行政の推進、情報化への対応などを掲げ、行財政運営の効率化、簡素化、合理化に努めています。

行政

まちづくり

# 発刊のごあいさつ



印南町長  
**日裏 勝己**

印南町は、豊かな自然に恵まれ、歴史と伝統を誇る町です。  
また、町民全てが安心して暮らすことができる魅力のある町です。  
これは今日まで、先人たちの英知と努力によって築き上げてこられた賜と心から感謝申し上げる次第でございます。

今後の町政運営にあたりましては、第5次印南町長期総合計画に基づき、住民との協働によるまちづくりを基本理念に「健やかに安心して暮らせる郷」「自然と調和した安全・快適な郷」「いきいきと個性が発揮できる郷」「地域の魅力が輝く交流の郷」「次世代につなぐ郷」を目標に掲げて、住民と行政が一体となったまちづくりを進めて参ります。

この小冊子が、印南町の魅力を多くの方々を知っていただく一助になることを願い作成しました。また今後のまちづくりを進める上で皆様方のお力添えをいただければ幸いに存じます。



## 町章

INAMIの頭文字「I」を図案化。先端は山（林業）、中央は平野（農業）、両端は港（漁業）を表し、自然と人が調和した町を象徴しています。



## 町の花 千両

真紅と黄金二色の実が濃い緑の葉に映える花。名前も縁起がよいことから、正月の花として、多くの人々に愛され、親しまれ、珍重されています。



## 町の木 杉

安らぎの緑を年中保ち、天に向かって伸びる杉。どんな環境にも育つ生命力の強いこの木はたくましく豊かに伸びる印南町を象徴しています。



## 町の魚 イサキ

印南町では年中釣れる魚で、旬にあたる初夏は脂がのって、このほかおいしくなります。町では、漢字で記す場合「勇紀」の字を用います。

## 【交通図】



## 【位置図】



恵みの潮、実りの地  
いなみ

太陽と黒潮に恵まれた  
半世紀の実りの物語

印南町町勢要覧 ● 2015

発行年月 平成27年1月  
企 画 和歌山県印南町  
〒649-1534  
和歌山県日高郡印南町大字印南2252-1  
TEL 0738-42-0120(代)  
FAX 0738-42-0662  
<http://www.town.inami.wakayama.jp/>  
制 作 株式会社 日本出版